

調書番号	08-06	基準年月日	令和5年3月1日
所管部	建設部	作成責任者	建設部まちづくり局都市環境課長 若山 英樹
		担当係	街路計画係（内）29-569

I 基本事項						
事業種別	都市計画街路事業費（社会資本整備総合交付金）					
ふりがな 地区名	3・4・4 ^{ほんちようどおり} 本町通		市町村名	長万部町		
事業期間	採択	R06 (2024)	完了	R12 (2030)	総事業費	2,400 百万円
負担割合	国	60.0%	道	40.0%	市町村	—
		1,440		960		—
事業目的・目標	<p>●当該路線は、北海道新幹線長万部駅（以下、新幹線駅という。）に連絡する道路であり、道路拡幅によるアクセス強化を図ることで広域交通ネットワークの形成に資するものである。</p> <p>●新幹線駅の整備に合わせて駅周辺では新たなまちづくりを計画しており、新幹線駅から中心市街地への回遊動線を形成し、地域の活性化を図るとともに、地域住民の安全な歩行空間を確保するため、歩道の整備を行う。</p> <p>●災害時の避難所（新幹線駅）への避難時の防災性向上や、救急搬送車両の安全かつ円滑な通行を確保する。</p> <p>【アウトカム】 等</p> <p>●新幹線駅へのアクセス強化 ●歩道拡幅による歩行者の安全性向上 ●災害時における避難経路の強化</p>					
事業概要	<p>●当該路線は、国道5号交差点を起点にJR長万部駅を經由し中心市街地を縦断する、町民の生活・経済活動の中心のひとつとなる延長約2.3kmの重要な路線であり、北海道新幹線の札幌延伸に伴い建設される新幹線駅へのアクセス道路として位置づけられている。</p> <p>●北海道新幹線の札幌延伸により、新幹線駅は登別や洞爺など胆振地方との結節点となるため、当該路線の交通需要が高まることから、道路の拡幅を行う。</p>					
工事費内訳	延長L=0.74km 幅員W=13.0m〔車道：2@4.5m(3.25+1.25)歩道：2@2m〕【現況】 ⇒18.0m〔車道：2@4.5m(3.0+1.5)歩道：2@4.5m(3.0+1.5)〕【整備】					(百万円)
	道路工	L=0.74km				357
	測量設計費	1式				67
	用地費及び補償費	A=2,346m ² 、N=54件				1,976
	計					2,400
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名	
		人・地域	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備	連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成	道路交通ネットワークの形成	
特定分野別計画での位置づけ	施策目標	【計画名：新ほっかいどう社会資本整備の重点化方針 P38】 （北海道新幹線の整備） 新幹線駅等の交通拠点から道内各所の観光地や主要都市などへ円滑に移動できる交通ネットワークの強化を図る。				
	関連する指標	—				

II 評価					
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ●当該区間は北海道新幹線の札幌開業に伴い建設される新幹線駅（長万部駅）へのアクセス道路であり、第4次長万部町まちづくり総合計画において、新幹線開業に向けた交通ネットワークを形成する路線に位置づけられている。 ●当該道路は狭小な状況であり、歩行者や自転車通行、特に冬期間における自動車のすれ違いなど円滑な通行に支障がある。 ●新幹線開業に伴い長万部駅への交通需要が高まるため、新幹線駅周辺整備計画(H29.3)において、通行空間の確保やアクセス強化の必要性が示されるなど、適切な道路幅員による道路整備が求められている。 				
2. 適切性	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和37年（1962）3月14日都市計画道路新規決定。 ●道道として道路認定（令和5年（2023）4月）を予定しており、道が実施する。 				
3. 代替案の検討	●当該路線周辺のまちづくりに係る土地利用への影響が少ない線形を採用した。				
4. 緊急性・優先性	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道新幹線の札幌開業に伴い、当該路線の交通量の増加が予想されるため、早急に新幹線駅へのアクセス強化を図る必要がある。 ●当該路線の整備のほかに、土地区画整理事業（町施工）を一体的に整備を進める。 				
5. 環境への影響・配慮	●工事の実施に当たっては、排出ガス対策型機械の使用及び低騒音の機械を採用するなど、地域環境に配慮して事業を進める。				
6. 妥当性	根拠法令等	都市計画法、道路法、道路構造令、北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例			
	その他	北海道総合計画、第4次長万部町まちづくり総合計画2021▶2030、長万部町都市計画マスタープラン			
	【地域の動向・意向】	<ul style="list-style-type: none"> ●H19（2007）～ 長万部町より毎年要望を受ける。 ●R02（2020）～ 事業化へ向けた協議を長万部町と開始。 ●R12（2030）～ 北海道新幹線（新函館北斗～札幌）開業予定。 			
	【事業関係手続】	●R6（2024） 都市計画法に基づく街路事業認可、告示予定			
7. 事業効果	経済効果の内訳（百万円）		費用の内訳（百万円）		B/C 1.12
	走行時間短縮便益	1,772	事業費	1,975	
	走行費用減少便益	430	維持管理費	20	
	交通事故減少便益	39			
	計（B）	2,241	合計（C）	1,995	
	【備考】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「費用便益分析マニュアル」（令和4年2月：国土交通省道路局 都市局）に基づき算出している。 ・経済効果及び費用は、「整備期間＋事業完了後50年間」の累計で算出しており、各年度の金額は、算出する基準年（R4）現在の価値に置き換えている。 ・費用は、現在価値への置換えと50年間の維持管理費を含んでいることにより総事業費と異なる。 				
8. 事業特性による特記事項	【協議・調整状況】				
	●協議事項：長万部町の土地区画整理事業との調整（事業区域、都市計画変更など）				
	【その他】				
III 今後の対応方針					
対応方針	新幹線駅へのアクセス強化や歩道空間の形成を構する必要があるため、経済効果も認められるため、新規の事業要望は妥当である。				
	a	a：要望を行うことは妥当 b：要望に当たって検討を要する c：要望を行うことは妥当でない			

事業概要図

事業名	都市計画街路事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	3・4・4本町通 <small>ほんちようどおり</small>
-----	----------------------------	-----	----------------------------------

事業地区位置図

